

福祉のまちづくりを基本に

少子・高齢化社会の波が押し寄せている日野町では、高齢化率がおよそ4割と、超高齢化が進んでいます。福祉の充実や教育環境の整備、環境に配慮した社会、農林業の振興など、まちには重要な政策課題がたくさんあります。

この状況の中、今年度の当初予算は、「安心して心豊かに暮らせる福祉のまちづくり」を基本に、できるだけ住民サービスを下さないよう配慮して編成しました。

また、国の生活対策や雇用の安定のための財源を可能な限り取り入れ、収支のバランスが取れる予算編成を心がけています。

予算の内容は、特に医療・福祉や子育て支援、学校教育などに配慮しながら、引き続き投資的経費を抑えました。歳出の4分の1を占める公債費（借金返済）については、補償金免除の繰上げ償還を進め、実質公債費比率（返済額の大きさを指標化したもの）の早期低減に努めます。

いずれにしても、厳しい行財政運営には変わりありません。歳入・歳出とも、さらに見直し、工夫しながら予算執行に取り組みます。

平成 21 年度一般会計歳入予算集計表

(単位：千円、△：減額)

科 目	本年度当初予算額	前年度当初予算額	比較増減	対前年度比 (%)
町 税	372,162	378,741	△ 6,579	△ 1.74
諸収入 (うち財源不足額)	81,349 (0)	158,289 (33,101)	△ 76,940 (△ 33,101)	△ 48.61 (△ 100)
繰入金	9,359	43,766	△ 34,407	△ 78.62
地方交付税	1,801,345	1,695,000	106,345	6.27
県支出金	186,575	176,650	9,925	5.62
町 債	150,000	119,400	30,600	25.63
国庫支出金	72,368	61,754	10,614	17.19
その他①	58,684	73,682	△ 14,998	△ 20.36
その他②	90,468	96,432	△ 5,964	△ 6.18
計	2,822,310	2,803,714	18,596	0.66

※その他①・②の内訳は 2 ページをご覧ください

平成 21 年度一般会計歳出予算性質別集計表

(単位：千円、△：減額)

科 目	本年度当初予算額	前年度当初予算額	比較増減	対前年度比 (%)
人件費	540,142	556,768	△ 16,626	△ 2.99
物件費	260,255	224,576	35,679	15.89
維持補修費	17,217	16,836	381	2.26
扶助費	142,458	152,100	△ 9,642	△ 6.34
補助費	681,860	664,303	17,557	2.64
普通建設事業費	33,220	52,854	△ 19,634	△ 37.15
災害復旧事業費	0	0	0	—
失業対策費	0	0	0	—
公債費	724,825	714,088	10,737	1.50
積立金	1,270	6,088	△ 4,818	△ 79.14
投資及び出資金	0	400	△ 400	△ 100.00
貸付金	36,450	46,509	△ 10,059	△ 21.63
繰出金	383,613	368,192	15,421	4.19
前年度繰上充用金	0	0	0	—
予備費	1,000	1,000	0	0
計	2,822,310	2,803,714	18,596	0.66

平成 21 年度一般会計当初予算 まちの主な事業

総務課

▽衆議院議員選挙 (653 万円) ▽町長選挙 (521 万円) ▽A E D 購入 (63 万円) = A E D (自動体外式除細動器) を、役場、町公民館、保育所に設置
▽補償金免除繰上償還 (4399 万円) = 公債費残高を減らし、実質公債費比率の引き下げを図る

企画政策課

▽まちづくり町民会議 (15 万円) ▽西部広域行政管理組合負担金 (1 億 3700 万円) = 消防、ごみ処理などを行う広域行政管理組合への負担金▽過疎バス対策 (1936 万円) = 町営バスの管理運営など

健康福祉課

▽障害者自立支援事業 (9727 万円) = 障害者の施設入所・通所支援や生活支援など▽特別医療費助成 (1939 万円) = 重度の障害者や小児、ひとり親家庭などへの医療費助成▽児童手当支給 (1932 万円) ▽健康増進事業 (916 万円) = 健診やがん検診、介護予防のための健康教室、栄養指導など

産業振興課

▽森林整備地域活動支援交付金 (1373 万円) = 適切な森林施行のための交付金▽古川地区かんがい排水事業 (421 万円) ▽環境衛生一般管理 (2500 万円) = 生活排水処理のための、3 町衛生施設組合負担金 (し尿処理分) など▽じん芥処理事業 (8912 万円) = ごみ処理委託料、3 町衛生施設組合負担金など▽除雪 (1265 万円) ▽橋りょう修繕 (354 万円) = 町道にかかる橋を点検し、今後の修繕計画を作る▽中山間地域等直接支払交付金 (4421 万円) = 地域での農地保全活動への交付金

教育委員会

▽小中一貫教育 (569 万円) = 小・中学校が連携した教育活動や、A L T (英語指導助手) の配置など▽魅力ある学校づくり交付金 (98 万円) = 各学校が特色・魅力ある学校づくりに取り組む▽出前公民館 (169 万円) = 学習講座の出前、体験活動の企画など▽町民ミュージカル補助金 (50 万円)

特別会計予算

合計は14億2483万円

一般会計とは別に、それぞれの目的ごとに運営する特別会計は、まちには現在7つあり、その総額は約14億2483万円となりました(昨年度当初に比べ約1%減)。

その内訳は、加入者に医療給付などを行う国民健康保険特別会計の当初予算が、約4億2850万円で、昨年度当初に比べ、約8%多くなっています。

老人保健特別会計については、昨年度からの後期高齢者医療制度の施行に伴い大幅に減額となり、今年度当初は約121万円(昨年度当初から約98%減)となりました。

要介護認定者への給付などを行う介護保険特別会計は、約6億346万円(昨年度当初から約3%増)となりました。

75歳以上の高齢者を対象に給付などを行う医療制度、後期高齢者医療保険特別会計は、約5616万円(昨年度当初から約10%減)となりました。

特別会計の予算額比較表

(単位：千円、△：減額)

会計名	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比較増減	対前年度 比 (%)
国民健康保険	428,496	398,420	30,076	7.55
老人保健	1,212	71,350	△ 70,138	△ 98.30
介護保険	603,462	584,198	19,264	3.30
後期高齢者 医療保険	56,164	62,449	△ 6,285	△ 10.06
簡易水道	117,275	106,952	10,323	9.65
公共下水道 事業	143,849	141,508	2,341	1.65
農業集落 排水事業	74,367	70,725	3,642	5.15
合計	1,424,825	1,435,602	△ 10,777	△ 0.75

また、水道施設の管理などを行う簡易水道特別会計は、約1億1728万円(昨年度当初から約10%増)となりました。

さらに、公共下水道事業特別会計は、約1億4385万円(昨年度当初から約2%増)、農業集落排水事業特別会計は、約7437万円(昨年度当初から約5%増)でした。

水道・下水道の予算増の要

因としては、公債費の償還がピークを迎えていることが主な理由です。

なお、特別会計には、一般会計からお金を繰出して収支のバランスをとっており、医療費給付や水道・下水道施設整備の借金返済などに充てられています。この繰出金が、一般会計を圧迫する要因の一つになっています。

まちでは、繰出金を少なくするため、公共下水道や農業集落排水への加入促進、医療費削減のための健康づくりなどに取り組んでいます。